

# 松山小学校便り

第 6 号

令和5年8月25日  
文責 穴澤 正志

## いよいよ2学期のスタートです

災害級といわれた今年の猛暑。まだまだ残暑が続きそうですが、いよいよ2学期がスタートしました。各家庭におかれましては、どのような夏休みをお過ごしになったでしょうか？

みんなニコニコ笑顔で2学期を迎えたことを大変うれしく思います。2学期には、1学期以上に、たくさんの行事や活動があります。そんな一つ一つの行事等を活用し、子どもたち一人一人をさらに成長させることができるように職員一同がんばります。2学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

## PTA奉仕作業へのご協力、ありがとうございました

8月20日（日）には、早朝よりPTAの皆様にご協力いただき、校庭の環境整備を行いました。お陰様で校庭が美しくなり、子どもたちを迎える準備が整いました。保護者の皆様に深く御礼を申し上げます。



## 拍手が10分間鳴り止まず～新なるチャレンジ「オペラ出演」～

学校運営協議会委員でもある長泉寺の住職 油谷充恩 様から、喜多方プラザで行われるオペラの児童募集のお話があり、全校朝の会にて子どもたち全員に声をかけたところ、5年 花見聖恩さん、加藤心美さん、川口律香さん、2年 江井 佑さんの4名より積極的な参加希望の声が上がりました。そして、厳しい練習に耐えた4名は、7月29日（土）フランスのパリを舞台とした「ラ・ボエーム」というオペラの晴れの舞台に立ちました。

華やかな衣装を身にまとった4名は、華麗な踊りやソロ、合唱を堂々と披露しました。それはまさに会場の約600名の観客に声を届けたいという思いそのものでした。

最後の4幕が終え、緞帳がゆっくりと下がってくると観客の拍手はより大きくなり、緞帳が下りきつた後でも拍手が鳴り止むことはありませんでした。その後緞帳が再度上がると、出演者に対する惜しみない拍手がより大きくなり、おそらく10分間以上、拍手がやむことはありませんでした。

児童のみなさんにとっては、オペラに参加するに当たり、大きな不安もたくさんあったろうと思います。しかし、そこを乗り越え勇気を持ってチャレンジした4名の皆さん、本当に素晴らしい経験をしましたね。今は不安ではなく、大きな大きな充実感に包まれていると思います。本当によく頑張りました。

人は、目標を達成しようとする過程において、知識やスキル、人との接し方、努力の仕方等、生きていく上で大切なことを、身につけていくものです。この経験をさらに様々な学校生活の場で広げてほしいと思います。

## コンテナパークへの搬入のお願い

7月20日のお便りでお願いしましたとおり、8月27日（日）～8月29日（火）の3日間は、荒川産業入り口のリサイクルボックスに投入された回収品の収益金が、松山小学校に寄贈されます。学校では、こうした収益金等を活用し、スキー教室のインストラクターの費用の一部にあてたいと考えています。こどもたちの学習充実のために、皆様のご協力を是非お願いします。

